

## 第34回市民ふれあいトークー地域力を活かすまちづくりー

日時 平成23年8月31日 18:30~20:00

場所 唐琴公民館

### 要約版

《市長》

こんばんは。今日は夕方のご飯時のお忙しいなか、市民ふれあいトーク、唐琴公民館での開催に多くの皆様お越しいただきまして誠に有難うございます。このふれあいトークは、市の設置しております中学校区の公民館に伺いまして、その時々市の大きな出来事とか、その地区の今日でありましたら、防災のことに一番ご関心が高いと思います。そういうことについて説明を最初にさせていただいて、皆様から意見やご質問を頂いたりして、まちづくりに活かしたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

地域力を活かすまちづくりという大きなテーマであります。今一番重要なことは全国的に何かと言いますと、東日本の大震災以来ますます防災に関することへの注目度が上がっていると思います。最初に私から2つくらいのテーマでお話をいたしまして、その後、いくつか進めていきたいと思っております。この唐琴公民館は昭和61年に造られました市内で21番目の公民館でございます。非常に活発に使っていただいていると思っております。こちらに住んでいらっしゃる方が多いと思いますけれど、唐琴は日本国の中でも歴史ある素晴らしい地域であると思っております。そういうお話などもしていきたいと思っておりますが、最初は当面、防災の話などをさせていただきたいと思っております。

唐琴、児島地区の防災のマップですけれど、今回の東日本の大震災にあたりまして、まず、私から市民の皆様にお礼を申し上げたいと思っております。倉敷の市内から義援金が2億円近く集まりまして、現地の県庁にそれぞれ防災の口座がありますので、何回かに分けてそこに振込みをいたしたり、当児島地区からは、現地の学生服とかジャージが全くないということで、特に岩手県の大槌町の町民の子供用の新入生の服やジャージなどを全て、倉敷市の児島地区のアパレル工業組合からご提供いただいたり、夏用の半袖シャツなど、沢山ご提供いただきまして約1万枚近くを現地へお送りしました。ボランティア活動についても、倉敷市から現在300名を越える方に、倉敷市が岩手県の遠野市に設置をしましたボランティア拠点に行き活動していただいています。そこを利用していらっしゃる方も、非常に沢山行って下さっていると伺っておりますが、私が今回の災害で思いましたのは、倉敷市でいうと児島や玉島地区の皆さんが、災害が起こって現地に直ぐに色々送ったり、何か助けをしていかなければいけないと思って、活動をしていただいたスピードが非常に速かったと思います。聞いてみましたら、皆さんも16年の時に、自分たちがすごく助けてもらったことがあったので、自然ととにかく助けていかんと思っていて、現地に行って色々物資を集めたりと言われておりました。

倉敷市はこれまで現地の岩手県と宮城県と福島県の13の市と3つの町に支援をいたしております。その中には短期で行っております市の職員もそうですが、皆さんの物資を運んだり、今は段々復興の時期になってきており、長期に倉敷市職員の派遣をしております。

倉敷市の水島港と同じ様な小名浜港というのが福島県にあります。こちらの港の復興の為に、うちの商工部から、1名長期派遣で行っております。また、明日から出発いたしますが、福島県の色んな施設が倒れておりますので、修復したり、もう一回建て直すのを市の建築の職員が2ヶ月ぐらいずつ交代で、現地へ行くようになっております。倉敷市とし

ては、遠いわけですがけれども積極的に支援をしていきたいと思っておりますので、御協力をお願いしたいと思っております。

さて、防災のことで最初にお話をしたいと思います。このマップが何かと言いますと、約3～4年、4年位前ですかね、全世帯にお配りいたしました「津波ハザードマップ」でございます。ちなみにお家で見た覚えがある方は、手を挙げていただけるとありがたいんですが、30パーセントぐらいですかね、有難うございます。改訂したら配りますけれども、この唐琴地区を拡大したのが、これになっております。玉島とか、水島地区の避難場所とか、どのくらい浸水するかが書いてあるものなんですけど、現在あるこの青い部分の中の唐琴地区のものですけれども、想定が東南海・南海地震2つが起こった時に、どの位の地震や津波が来るというのも色で判ります。見難いんですけども、帰りにもご覧頂ければと思うんですが、緑が約1メートルで、青色が約2～3メートルで、唐琴の公民館辺りは大体1メートルぐらい、こちらの下の町の辺りは2～3メートルぐらい、琴浦南小学校辺りも2～3メートルぐらいの津波が来るのではないかと。津波が来ると言っても、東南海・南海地震は直ぐ来るわけではないので、約2時間あると思います。正確には2時間半近くですけど、津波が来るということです。このマップが国の解析、県の解析を経て作られている訳ですが、これを見直すことになりました。何故かと言いますと、今回の東日本の地震を受けまして、もしかしたら東海地震も併発して3つが、千年に一回かもしれません来るかも知れない。今の想定より大きな津波が来るかも知れない、地震が来るかも知れないということで、今の想定よりも約2倍の高さの津波が来たらどうなるかということで、まだこの図にはなっていないんですけども、計算をし直しております。

現在のところ、この児島地区の唐琴地区・琴浦地区の津波避難場所には、唐琴公民館はなっておりません。何故かと言うと、16号、16年の台風の時に、入り口にパネルがあるのは皆さん重々ご存知だと思いますが、そこまで高潮が来ておりますので、もっと山の方へ逃げていただかないといかんということで、ここは外しております。近くで言うと琴浦東小学校とか、琴浦西小学校や西幼稚園、琴浦中学校は上の方にありますけれども、こういう所に逃げて頂きたいということに今なっております。この琴浦東小学校や西幼稚園や西小学校などは、今度2倍の高さの津波が来た時にどうなるかというのを、計算しなくてはいけなくて、避難経路なども大丈夫かということで見直しをいたしました。防災危機管理室の職員が児島地区だけじゃなくて、市内に約40ほど津波の避難場所があります。そこに全部行き、標高を測りまして資料をまとめましたのが今日発表したばかりですけども、津波避難場所の検証報告書ということで。近々にホームページに載せたり、支所でもコピーして窓口に置いたりした方がいいんじゃないかと思っているんですけど、その中にこういうふうに表示したいになっているんですけど、市内の各避難場所、避難場所の標高が何メートルだという事、建物などがある場合は何階建てと書きまして、この避難場所が2倍のものが来ても適切であるかが示されています。もし今の2倍の津波が来ましたら、今の高い所で3メートルのものが来ます。現状の想定ではそれが2倍になったら、6メートルのが来るわけではなくて、計算上は3.6メートルの高さまで津波が来ると、この前、県に国から知らされました。この3.6メートルよりも上か下かというので見るわけですが、例えば琴浦東小学校は標高が5.3メートル、それから琴浦西小学校は標高が5メートル、琴浦西幼稚園は標高が6.4メートル、そして琴浦中学校は高い26.7メートルで、これは絶対安全だと思いますけれども、ちなみに唐琴公民館は標高が2.

4メートルになっておりますので、ここへは避難せずになるべく高台へ逃げていただく必要があり、地震が起こった時に、市で指定するわけにはいかないんですけど、地域の神社、直ぐ裏手に行ったことがないんですけど、境内は結構広いんですかね？中ぐらい？避難場所です神社とかを指定はなかなか出来ないんですが、例えば、水島は、第三福田小学校とか、第四福田小学校とか、水島の東にあるのは見直しの対象になりまして、今度は周りの種松山とか、JFEさんの広江グランドがあります。そこを避難場所として市が借りまして、そこへ逃げてもらったりというのを出したりしております。児島地区では、今回は見直しで今の避難場所である琴浦東小学校、琴浦中学校、西幼稚園、西小学校、勿論児島の中学校や味野小学校や児童館などは見直しにはなりません。ただ、私が思いますには、なるべく琴浦中学校辺りに、大きなものが来る時には時間もありますので、逃げて頂ける様になるといいかなと思います。勿論東小学校も大丈夫ですけども、高さが琴浦中学校よりは低くなっております。この逃げ方の話と広報のことでございます。広報というのは津波が来るぞとか、地震が起こったぞとか、そういうことの伝え方について、いま何重にもするように施策をしております。唐琴地区は市のかわせみネットの公共のネットワークから、10個のスピーカーに直接つないで、市からの避難勧告を直接流せるようにしております。ちなみに毎月1日、朝7時45分に、鳥がピヨピヨピヨと、夕方にも5時半だと思えますけれどもピヨピヨピヨと言うんですけど、それを聞いたことがある方は、ちょっと手を挙げていただけないでしょうか。有難うございます。大体半分ぐらいでございます。本当は鳥ではなくて、あれはここにも繋がっておりますし、市内の人が多く住む所に、16号の台風以降に350ヶ所付けました。小学校の上に付けまして、最近使ったのは、この前台風6号の時に私の声で言ったんですけども、聞いたことがある方。1名だけ、3人位ですか。日にち忘れたんですけど、今年の6号台風夕方の午後4時ぐらいと午後7時の2回位、何時ごろまで随分水位が上がってきますとか、話しました。実はピヨピヨピヨは、毎月1日、9月1日は防災の日ですので、毎回人の声で注意喚起をしようとは思ってはいるんですけど、うるさいと言われるんじゃないかと思ひまして、ちゃんと音が鳴っているかどうかをチェックしないといけないものですので、音が出るかどうかをチェックしています。東日本の震災のこともあったので、たまには人間の声で言わんといかんということで、実は明日、9月1日の朝7時45分からの分は、私が人間の声で「皆さんおはようございます。」とか言おうと思っております。たまには人の声でちゃんと聞こえるかどうかチェックしないといけないと思っております。ちなみにこれは地区ごとに避難勧告を出したりするのも使いますし、主にそういうものに使おうと思っております。

明日から始まることで、今日ちょうど発表したばかりなんですけれど、ちなみに今日ここにいらっしゃる方の中で、NTTドコモの携帯の方はどのくらいいらっしゃいますか？大体3、4割。今回東日本の災害の時に、震度5とか6の地震が起こるときにテレビで緊急地震速報が、ピカピカと出ますよね。携帯に契約で別にメールとかしてなくても、市で契約をすれば、倉敷市内の地区の大体この辺に、倉敷市内の辺りの所にNTTから緊急地震速報が出たら、携帯にビーという音を出して、「緊急地震速報が出ました」と教えてくれたり、市が避難勧告を出した場合には、「この地区は避難勧告が出ました」と、メールを使って携帯に出してもらったりする「エリアメール」というNTTのサービスなんですけれど、明日から導入することにいたしました。もちろん明日は何も来ませんが。それで、今後、KDDIさん、auとかソフトバンクとか、他の携帯電話会社もこれをだん

だん導入されると言うておりますので、導入したらやっついこうと思っておりますけれども、まず、ドコモの方が通じたら他の方に言うてくださると思うんで、そのサービスをして貰うという事にいたしました。

それからFMくらしきを聞いたりする方、どのくらいいらっしゃいますか？大体3～4割ですね。FMくらしきが、「こくっち」というラジオに、緊急地震速報がガーッと出るようなサービスをしているんですけど、それ以外に大災害が起こったらFMくらしきの周波数を市が全部使いまして、緊急時災害FM局を市から倉敷市全域に渡って、かなり強い電波で出す予定にしています。その準備を今日発表した9月の市議会の予算に出しております。身近には広報車、消防団の皆さんによる告知、支所の広報車で回ったり、それからこちらのスピーカーから出る声の分と、エリアメール、ドコモの携帯電話にとりあえず来るもの、もし何か起こったらFMラジオとか、色んな経路で情報を、何か起こった時、起こるといふ予告が来た時には、出したいと思っております。どれが通じるか判りませんので、少しでも手段を増やしていきたいと思っているのが今の市の考え方でございます。

今度の10月1日に、架橋記念館の横に今造っておりますけれども、児島の市民交流センターがオープンいたします。こっちが前の架橋記念館の所でございまして、児島の図書館と公民館などの機能をここに全部集約しまして、明るい児島の地区の駅前から来た所の街中のにぎわいの場所になってもらえたらなと思っております。市のまちづくりの考え方としては、児島の駅から、この前も「踊って歌って児島でないと」でしたっけ、やっついだいでいる児島駅前の広場、芝生の広場からこの4月にオープンしましたこの民話通りの左側の児島の産業振興センター、それから右側にはファッションセンターがございまして、「どんかっか」の公園がありまして、こちらの文化センター、市民交流センターに來まして、この商店街などを通ってジーンズストリートなども出来ております。野崎家に繋がっていく児島駅からのまちづくりという事で考えております。

児島の市民交流センターですけど、これまでの図書館よりも随分良くなる予定といたしました。一番大きいのは、図書館を非常に充実させ、図書館の蔵書が児島は今まで市内のどの図書館より少なく、非常に冊数が少なかったわけです。蔵書が13万冊で、平均より少なかったんですが、それを20万冊近くの蔵書に増やし、収容できるだけの、明るい、暑いかもしれませんが、あんまり暑くない様にとは思っ設計してくれてますけれど街の賑わいも随分出てきてお勉強もしていただければいいなと思っております。図書館、公民館の機能を芝生の面や晴れの国の太陽光発電、こちらの駐車場の上にも芝生を貼りまして、色んな面で使っていただける様にいたしております。中銀さんとの間の道も、用途廃止をしておりますので、駅の前が変ってくるのではないかと思っております。開館時間は、今までよりもサービスが良くなると思っておりますけれど、朝9時から夕方7時まで開いております。日曜日・祝日などは、9時から5時までということになっておりますが、是非ともご利用を頂ければと思っております。10月に出来まして、皆様ご利用をお待ちしております。

先般のトライアスロンでは大変お世話になりまして、心から感謝を申し上げます。市が主催となりまして初めての大会でございましたが、何とかご協力を頂き無事に怪我も無くいい大会になっていったのではないかと思っております。心から感謝を申し上げたいと思っております。

私ばかり話してはいけませんので、ここまで児島地区のことだけで、倉敷市内全体の

話は、あまり出来なかったのですが、防災に関する事、色んなご意見を頂ければと思いますので、よろしくお願いをいたします。

《参加者 A さん》

さっき、防災マップのことで色々説明されたんですけど、防災マップは3.3メートル、現在3.6でしたかね、前回16号台風で、それは標準時の3.6メートルと言っていると思うんです。この前浸かったのは、大潮満潮時の1メートルです。あの時の異常気象で潮が上がったのは、水島港湾の発表で。ということは1メートル上がって2.6から2.7メートル位の所に水が来ていることで、それに2.6メートルたさにゃあおえんと思うんです。防災マップをこしらえて水が来る可能性が高いから。異常気象で吸い上げられて上がったのが1メートルですから、浸かったのが大体2.6メートル位の所まで来てますから、それプラスあと2.6メートル足さんとおえんと思うんです。それで大体海拔5メートル位まで水が来る可能性がある。最悪の場合。それでお願いがあるのは、5メートルラインをこしらえて欲しいんです。ここまで来れば、まず水は来ませんよという道路標識か何かで5メートルラインを各坂にこしらえて欲しいんです。全市に言えることだと思うんですがね、大体5メートル上がってくると思うんで、最悪の場合。道の海拔5メートルをいちいち測らなくても、下水局が下水を通す時に計測されてますから、下水局にはどの線のどこが5メートルかというのを持ってますから。そこに1つ看板を立ててもらえば、ここまで来れば5メートルですよとわかれば、そこ以上に避難してくればいいんで。

これは高知の安芸かどこかに、あそこは10メートルラインか何かがあるんです。そういうようなのをこしらえて欲しいんです。

《市長》

津波の分ですね、地震の津波の分ですので、言われるように高潮の分は勘案してないです。今後作るマップの中で、高潮、16年の分で最悪の分をしたら、言われるように5メートル位まで、高潮の時、大潮の時に地震が最悪で起こったら、

《参加者 A さん》

僕が言ったのは、防災会議にいろいろ出て、お話を聞いたんですけど、いったん内海へ両方から入ってきたら、8時間は水が抜けないんですね。8時間の間にだいたい満干潮、満潮時はいっぺんあると思う。それを想定しとかんとおえんと思うんです。防災会議で懇々と言われてました。

《市長》

判りました。いいことを思い出させていただきました。その水が抜けないというので、勿論ポンプとかの修繕とか、増設についてもやるんですけど、そう簡単には全部直ぐには確保出来ないんです。今回、思い切って岡山県下で国道事務所が持っているものすごい大きな機能を持った排水ポンプがあるんです。それを1台市で購入することにいたしまして、今言われるように、いざ浸かった時に、排水に時間がものすごくかかるのを、少しでも解消するように今回の予算で買いました。我々もまだ使った事が無いんですけど、これまでも何度かそういう大きなものが来た時に、国道事務所から貸してもらって使っておりますので、抜本的なんじゃないんですけど、少しは役に立つかと思っております。

《参加者 A さん》

内海へ入ってきたら8時間抜けないのは内海全体ですよ。淡路島の向こうの。あの間は狭いんで、大阪湾に10メートルから12.3メートルの津波が来た時にあそこを通過して入って来た水によって、内海が3メートル上がる計算です。これは山口大学の教授が計算して出しとることですから、それでいったん入ってきたらあそこから抜けていくのに、普通にいけば8時間かかりますよということです。そういうことなので、一応避難する場所、ここから上へ避難して、ここなら安全だと言うラインを全部引いてもらえば、大変助かると思うんですけど、皆そこを目標に逃げて。

《市長》

なるほど。ここ以上が絶対安全だとかいう所がね、引ければと思うんですが、実は地区によって考え方が違いまして、唐琴地区は皆さん、前から住まわれているので、ここ以上だったら大丈夫だということで標識があってもいいと思われる方が多いと思うんですが、水島地区とかで、それを引くと土地の価値が下がると言われる方が、実は結構いらっしゃるんです。これ以下は全部浸かるんかと、うちは土地を売れんじゃないかと言われる方が結構いらっしゃって、それが難しいです地域で設置をしていこうと、地域によって対応をしていくのも、ひとつあるかなあ。

《参加者 A さん》

そういう時は、ここをいっぱい車が通られとっても、ここ以上に逃げて下さいと言えますからね。

《参加者 B さん》

今日は「地域力を活かすまちづくり」というテーマだったんで、情報発信について行政全体、今日も3割ぐらい色々告知をしているけれどもなかなか伝わらないという部分があるので、今後まちづくりをやっていく中で、倉敷市とはどういうものか、色んな所へ発表して情報を発信していかないといけないと。なかなかうまくいってないんで、その所を産学官民でプロジェクトチームでも作って、これから倉敷市はどのような市なんだと世界中に発信していく方法を考えていった方がいいんじゃないかなと思っています。

《市長》

世界中に発信は一挙になかなか。でも、国内には最近の例で言えば、新幹線が通じたので、鹿児島に7月に行きまして、児島のジーンズとか繊維製品を持って行ってPRしたこともありまして、これはPRじゃなかったんですけど、3月の震災の前に、倉敷市の姉妹友好都市のニュージーランドのクライストチャーチで大きな地震があり、倉敷市は日本国唯一の姉妹都市なんで、小さいんですけど3人うちの消防隊が現地、次の次の日位に行きまして、1週間か10日ぐらい支援活動をしたんですけど、クライストチャーチの市民の皆さんは、実はほとんどの人が、倉敷市が姉妹都市だということを元々知っていらっしゃるんですよ。ここに後ろに KURASHIKI FIRE と書いてあり、倉敷が燃えたら困るんですが、倉敷の人が来てくれた、わざわざ。それで再度、倉敷に対する信頼といいます

か、友好感がものすごくアップしまして、その話がニュージーランドの首相のキー首相という方がいるんですけど、それが総理大臣へ話が行きまして、向こうの総理大臣から倉敷市宛にお礼状が個別に来ました。そういうことなんかも、勿論PRばかりじゃないんですけど、やっていって1つの道になればと思っているんですけど、Bさんの言われるように、倉敷市のPRがまだまだ不足している所が多いと思っております。

《参加者Bさん》

持てるポテンシャルに合わせて、もうちょっと、発表できるものがあるんじゃないかなというふうなことがあります。あとは市長一人に負荷がかかっているように見えまして、システムをちゃんと作った方がいいのかな、というのが気になっているところです。

《市長》

有難うございます。おっしゃるとおりで、市長一人だけではPRも限界が勿論ありますので、それぞれの児島の地区の皆さん、玉島の皆さんがそれぞれの製品のPRを一生懸命していただく事が、倉敷市の発展に繋がると思っていますので、当地区も本当に日本の中でのシェア、それはひいては世界のシェアのトップのものをたくさん取り扱っていらっしゃいますので、是非ともそれぞれの皆さんにお願いしたいと思っております。はい、有難うございます。

《参加者Cさん》

防災の問題に戻りたいんですが、避難も勿論重要ですが、実際に高潮や津波を防ぐ対策を考えていただきたい。近くに番東川がありますけど、河口に唐琴幼稚園の跡地に排水ポンプを設置するという計画が前からあるんですが、是非それを早期に考えていただきたいんです。今どうなっているのか。それから、今海岸線に防波堤を整備することが必要だと思うんですが、そういう計画があるのか、ないのか。それからこの地域としても、避難訓練をしようという計画も考えられているんですが、そういう時に市としてはどういう援助があるのか、お聞きしたいと思っております。

《市長》

言われました様に防ぐ方策もやらなければいけないと思っております。いっぺんには出来ないというのもあり、児島の支所の管内の中でもこれまで全く手のついていない所、仙随川などにポンプなど全く無いんです。番東川は勿論この前の時も浸水被害がありましたけれど、一応樋門といいますかポンプがあります。まだまだ能力不足だと思いますけれど、順番に整備することになるんですけど、番東川の整備も市の計画の中に入っております。今すぐ出来るということではないんですが、遠い将来ということではないというつもりで、順番でやるような計画と思っております。漠然とした答えで恐縮です。防波堤については、今のところ計画はないと聞いております。地区によって県が国と相談いたし、防波堤が必ず要りそうな所と、そうではない所と何か入り江の状況とかもあると思うんですけど、いくつかあり、今のところは確か対象にはなっていない状況でございます。番東川も仙随川も何とかしないといけないと思っております。

《参加者 D さん》

9月は税金の月で、税金の本が市役所から出とんですね、今日持って来たんですけど。市税1万円の使い方、使い道というような。一番関係があるのは民生費とか教育費とかね、そういうものに関心を持っているんですけど、教育費の中に例えば私学と公学とあるんですけど、国とか県というのは私学に対してとか、公立に対して、何とか言う比率が出てますけど、これの倉敷市の比率は出ているんでしょうか。比率というか国からこのくらい、何と言うのか教育に対して公立に対してこのくらい、私立に対してはこのくらい、県のほかの地域ですけど先日、私学の会長さんが県に私学にもう少し協力して欲しいと言う陳情をされたと聞いたんで、たまたま、これは税金のことで、倉敷市はどうなっているんでしょうかということが1つと、先ほど市長さんが明日7時45分に倉敷市全体で聞けるわけですか。

《市長》

明日、全体にです。

《参加者 D さん》

それは例えば、倉敷市内の小学校で全部市長の声流れるんですか。

《市長》

全部の小学校ではないんですが、大体小学校区の中に数箇所ずつ付いていますので。

《参加者 D さん》

じゃあ、流れる小学校と流れない小学校があるんですね。

《市長》

そうですね。人口が多い所は、少し密集して付いておりまして、声がダブって聞こえたりして、良くない所もあると聞いております。

《参加者 D さん》

帰って家族に7時45分に市長の声が入るから必ず聞きなさいと、言おうかと思う。ある友達が流れる車の中で大きな市長の声を聞いたと、私に報告がありました

もう1つ、新幹線に乗って鹿児島までPRに行かれましたよね。その事後報告といえば僭越なんですけど、どういうことだったのかもうちちょっと詳しく聞きたいです。何でそういうことを言うかということ、たまたま先日、NHKの夕方の5時15分くらいのテレビの放送で、熊本の人吉から鹿児島にかけて、あるタレントがNHKの番組でいろいろ宣伝というか、ここにこういうのがあると。その時にたまたま見ていたら電話がジャーンと鳴って、女性でしたけど、鹿児島からダイレクトメールさせてもらいますと言って、要するにコマーシャルなんですけど、先日、岡山の倉敷市から来られて宣伝された。倉敷市という市の名前が残ってたんで、別にお宅を選んでしたわけじゃなくて選別でたまたまうちにかかって来たんで、タイミングがものすごく良くて、今ちょうどNHKでお宅のを流してますから、その関係の人かどうかは判りませんが、その人から電話がかかってきまして、



ものすごく偶然の一致でその人はたまたま水の売り込みだったんです。10本セットでいくらっていうやつを非常にいいから買ってくださいということでした。私もその時に負けずに宣伝しまして、岡山倉敷の高梁川の綺麗な水があってね、こちらを逆に売りたいぐらいだと、逆に宣伝したんです。向こうの方はびっくりされて、そういう偶然が重なったということと、自分がPRしたら、逆に私の方がPRしたので、倉敷というところは非常に市民の方が熱心なのかと、そうですと言いましたけれど、市長がたぶん鹿児島でPRされたのが鹿児島の市民にインプットされとったんでしょう。宣伝されとったその後の効果もお聞きしたいと思ひまして。

#### 《市長》

鹿児島に7月上旬に行きまして、向こうの山形屋と言ひまして、山形県の「山形」に屋敷で「やまかたや」というんですけど、向こうの天満屋さんみたいなデパートがあるんです。そのの広場をお借りして、倉敷市のジーンズや桃やマスカット、児島のたこ塩焼きそばの皆さんと一緒に来てくださって、向こうで実際に焼いてくれたり、というのをやりました。水島のi-Mievも向こうで展示をして環境の街を宣伝しまして、約1,000名近くの方が1日で来て下さったと思ひます。向こうの鹿児島のテレビ局で、対談番組みたいなのを市長が、初めて市長が来たのが一番その夏の始めだったのかな、市長がそんなにいっぱい来ている訳ではなかったみたいで、岡山県からは初めてです、それで取り上げて下さったんですけど、私が感じましたのは、JRの人にも聞いたんですけども、最初はやっぱり鹿児島に行く人ばかりなんですね。多いように感じております。それが何とか一段落したら、向こうから来てくれると思ひますので、私が感じていますのは、鹿児島の人たちはやっぱり受入に今一生懸命な感じがしました。すごく沢山、外からドンドン初めて来られる方が多くて、なかなか自分をご商売されている方とかは外へ行きにくい感じでしたけど、私が向こうで前の晩に泊まって夜に街をパトロールして、何軒かラーメン屋さんに行つてご主人とかに聞いてみたんですけど、そうしたら今は忙しすぎて、なかなか自分に行くのは難しいかなという感じですけど、一段落したら、倉敷市の、国立公園があるとか、瀬戸大橋が倉敷市の児島から架かっているとは知りませんでしたとか、広島からだと思ひましたと、違う橋ですけど、という認識だったのでPRしておけば、知っている所へそのうち行こうかという興味を持っていただけるんじゃないかという印象を持ちました。まだまだ、知られてないのが現状だと思ひましたので、さっきお話して下さいましたけれども、それぞれの皆さんが是非PRをしていただきたいなど、非常に思ひます。

もう1つ。私学と公立の国からの比率ですけども、比率は覚えてないんですけども、仕組みは、公立は市が担当してまして、私立は県が担当してらんです。で、私立に対する国からの補助は県が貰って、公立の学校の例えば改修とか、子供が増えて建て増しするかというのは、市が国から貰うんですけど、物によって半分出たり、3分の1出たりとか、大体そういう感じですよ。

#### 《参加者Dさん》

市としては無いんですか。基準というか。市に対しては県からあるんでしょ。支援が。

#### 《市長》

県からは無いです。いえ、あります、あります。私学に対しては、市からではなく県からです。

《参加者Dさん》

市からは無いんですね。県からはあると聞いとるんです。

《市長》

私立の幼稚園とか中学校とかについては県から来ます。私立の幼稚園とかについては、市から一部補助が出ています。公立は勿論自分でやっておりますので、それは県からは来ません。県から来る分位の少しは国から市に直接来ます。そういう仕組みになっております。ちょっと比率は済みませんが持っております。

《参加者Eさん》

小川から来ましたEです。6年ぐらい、65世帯ぐらいの町内会長をお世話させていただいてますが、有明新聞をお渡ししましたけれども。中山運動公園には以前プールがあって、今はマリンプールに変わりましたが、跡地がそのまま放置されているように思います。ご近所の方が小学生、中学生が入り込んで危険ではないかと言われてます。管理をされているかどうか、そのあたりをお聞きしたいのと、そこを利用してグランドゴルフ協会が、生涯運動、スポーツというのが非常に広がってますが、グランドゴルフ協会からは是非埋め立てて、コースが出来るようにグランドゴルフだけでなく多目的の広場でもいいですが、そういう要望を既に、議員の方を通してお願いしてると思うんですけど、どうもなしの礫のように現状思っていますが、そのあたりの進行状況をお聞きしたい。

それと今回来るについて、娘にも意見を聞きましたら、是非要望して欲しいというのが、中山運動プールにありました2・3歳から小学生に上がるまでの学童用プール、水遊び場ですね、これが無くなったと。新しいマリンプールに先日、現地を見に行きましたら噴水が出来てますねえ、あれはどういう意味の噴水か良く判らないんですが、水遊びらしいんですけど、若いお母さん方に聞くと、以前あった学童用のプールをどうしてなくしたのかと。是非再開して欲しい、噴水よりそちらを是非やって欲しいという要望をお願いしておいて欲しいということでした。

もう一点、以前から児島文化センター、市民病院において移転地とかの話がありますが、その中で出てこなかったと思うのが、以前ありました海技高等学校の跡地が8,000坪あるそうですね。これが児島市民の為に何か利用して欲しいと思うわけですが、そのあたりを市でどういう対応をされているのか、聞いておりませんでした。既に8月に国土交通省に了解を貰ったと思いますが、一応、運動場だけグランドゴルフ協会が管理させていただくことで、利用が可能になりました。先日も草取りもしましたし、9月から利用になっておる。一部の平屋の建物も利用させていただくことで、あとトイレが無いんで、それも今考えることなんです。既に一応そういう形で利用させていただくと、国としては建物を全部潰して、更地にして民間に売り飛ばす話をしてる中で、そういう形で無償で貸していただけることになっておりますが、是非8,000坪もの土地なんで、何とか市の有効利用で、具体的な話も随分出ておりますが、時価8億円とかいいんですけど、話の持っていくようではタダにはならないかもしれないかもしれませんが、そういう話も出来るみたいで、私の

個人的な意見を言わせてもらえば、児島に是非、海浜公園を作って欲しい。あそこには記念碑等々が何点かありますし、昔の練習船の模型もありますので、残して是非児島の観光地として、海浜公園、そしてその8,000坪を利用した私の個人的なものですが、年2回のせんい祭りが児島でやられておりますが、その常設店をアウトレットショップですね、これは児島でしか出来ない、日本全国に発信できますジーンズ発祥の地、学生服の発祥の地ですから、メーカーさんが多数おられますので、そのアウトレットショップ街が今のジーンズ商店街とタイアップして、児島をすごく全国に発信する施設になるかと思っておりますが、個人的な意見ですけれども。そのあたりの点のお尋ねとお願いですけどよろしくお願ひします。

《市長》

最初は中山運動公園の話と、あとはプールの話等々の色々ご意見いただきまして、有難うございます。中山運動公園プールの跡については、管理は市のスポーツ振興事業団に委託をしてやってもらっているはずでございます。正確に覚えてなくてすみませんが、スポーツ施設は大体、指定管理を外へ委託して、やってもらっております、言われました様にプールが新しい児島のプールになっておりますので、児島の中山のプールの跡地については、課題になっております。今のところ、明確に再開発するという計画にはなっておりません、まだ検討中の段階です。気になったのは、子供が入って悪さをしたりとかは良くないと思いますので、管理の面からも一回確認させていただきたいと思います。児島の新しいプールの噴水が学童用のプールの替わりに出来たのかどうかは、経緯を調べてみたいと思いますが、造る時に地元の方と相談して造られたと聞いているんですけど。

《参加者Eさん》

その声が全然聞こえてないのか、どう市役所の担当の方が受け取ったかを聞きたいんです。実際現地へ行ってお母さん方に聞いてみたら、一体何処へ連れて行けばいいのか、噴水は無いよりはあった方がいいと。

《市長》

入り口の前の噴水でしょうか？海側のですか。なるほど。経緯が。調べてみます。

《参加者Eさん》

幼児を遊ばせるのがはっきり言ってないそうです。

《市長》

なるほどねえ。幼児用が本当に無いのかなあ。無いんですか、全く。

《参加者Eさん》

ないです。中山が非常に好評だったにもかかわらずなくなったんで、今あるのは連島であそこはオムツ用のパンツをすれば入れる。そこしかないです。

《市長》

幼児用のですね。あのプールはご存知のように国体用にということがあって、随分造り替えた経緯があったと聞いてますけど、もう一回地元の皆さんと、どういう相談をしたのか確認してみます。多分してると思うんですね。普通は。それから8,000坪の海浜公園ですが。海技大学の跡地ですね。国が売却したいという意向を持っていると伺っております。国も財政不足ですので、何とか買ってくれる所がないものだろうかと言われていたと聞いておりますが、その後、管理が少し使ってもいいというお話に今なっていると伺ったのですが、なかなか売れないので、とりあえず使ってもよろしいということにされているのではないかと思います、市が8,000坪を買ってというのは。

《参加者Eさん》

素人考えでは、話の持っていくようではただになる可能性もあると思います。

《市長》

いや、それは絶対ないです。国も最近非常に辛口でして、タダというのはちょっとないですね。打診出来るかどうかは考えて見ます。ただ何も計画が無くて、市が買ってもしけないと思います。タダと言えどもいけないと思いますので、そこら辺については良く検討しながら、タダで譲ってもらえるような傾向があるのか調べてみます。色々な観点からご説明有難うございました。

《参加者Fさん》

交流館を見学させていただきました。大変暑かったですけど。冷房が効いてなくて蒸し風呂のようでしたが、大変良かったです。確かに交流館は座席が少ないですね、何かするにも舞台は確かに大きかったですけど、交流センターの大ホールは座席が400？ それはそれでいいですけども、文化センターはどんなになるのでしょうか。文化センターは800座席がありますよね。1,200ですと、800がちょうどなんですけど。

ひとつお願いがあるんですけど、婦人会とか老人会とか今度敬老会をするんですけど、真にトイレが和式なんですよね、洋式が無い。障がい者のはひとつありますけど、和式なんです。お年寄りとか、私たちが高齢者になっているんですけど和式のトイレを至急に直して欲しいんです。座席がとっても座りにくい1時間座っててもとても腰が痛くなります。頼みに行ったことがあるんですけど、文化センターを直してくださいと行って、その時の回答が小学校を今順番に直してるんで、それが済んでから文化センターだから、何年かかるか知りません。至急に文化センターの座席とトイレとよろしくお願いします。あれは市のものですか。

《市長》

勿論市のものです。学校の話をした理由は何かと言いますと、さっきの海員学校の跡地なんかも含めて、市のお金がいくらでもあればいっぺんに何でもやりたいなあと勿論思うわけなんですけど、お金の入ってくるものが決まっておりますので、どういう順番で使うかという事が、市の政策で考えないといけないんです。今一番急いでいるのが、学校の耐震化、避難場所になりますので、子供さんたちが勉強しておりますので、学校の耐震化の率

をとにかく至急に上げないといけないと思って、とにかく市のお金を随分、今急いでやっております。私が市長になる前に学校の耐震化率が大体20パーセント台だったんですけど、3年半ぐらいで、もう直ぐ70パーセント位になる予定です。急ピッチでやりまして、さっき言われてましたけれど、国は遅れている地域の耐震は、率を早く上げてもらいたいので、有利な補助を付けて貰えるというのがありましたので、ちょっと引っ張ってきまして、先にやらないといけないと思っております。あと10年とはかかりません。そうですね、4～5年はかかると思いますが、学校の耐震化は何十億とかかります。一つずつは勿論1億とか2億なんですけど、学校だけでものすごく数がありますので、お金がかかります。市の色々な学校以外の公共施設の耐震化などを本当にやらないといけないんですけど、随分遅れております。それをやってから、こういう市民交流センターとかは別です。これは元々老朽化した図書館とか公民館を一つ一つ同じ場所に建て替えると非常にお金もかかりますし、管理代もかかりますので、まとめて効率的にして、管理費も安く済むようにという事で合築しましたけれども、そういうもの以外については、なるべくこの耐震化が済んでからということになっておりますので、児島文化センターの座席も確かにそうですね、壊れている所とトイレかだけでも直せないかどうか検討してみます。

《参加者 G さん》

唐琴の西の海岸の養浜工事が終わりました、きれいにさせていただいて子供たちも喜ぶと思えば、泳げるような状態になっております。その件に関連してお尋ねなんですけど、1つは県による養浜工事だと思うんですが、それが終わった後、市に移管されて、上の増築物とかは市の管理になるんじゃないかなと聞いておるんですが、いつごろ県から市に移管されるのか、お判りになればお教えいただきたいなと思うんですが、もう1つ要望があるんですが、先にその件だけでもお教えいただけたらと思います。

《市長》

いつごろ移管かというと詳しく知らなかったものですので、支所長から判る範囲で。

《支所長》

支所長でございます。唐琴の浦の養浜工事につきましては、海の管理ということで、海は県の管理となっております。その関係で県が養浜工事を行っている所です。市として県からお聞きしているのは、県で住民の方の声をお聞きさせていただいて、住民の方がどのような希望を持っておられるか、それについて県として何処まで出来るか、市として何処まで出来るか、そういうものを県がとりまとめをしまして、後に市へ移管されると聞いておりますので、住民の方の希望につきましては、県工事主へ言っていただいた方が、現狀的には一番うってつけではないかと思っております。そういうことですから、移管につきましては、それ以降の話になるかと思っております。県も出来ることと、出来ないことはあると思いますが、希望は希望で、訴えてもらったらいいと思います。

《市長》

つい先日だと思うんですけど、1回説明会を県がした、市も一緒に伺ったと聞いているんですけど、いつごろまでに必ず移管しなければいけないとは、私も聞いていないので

すが、何でもかんでも移管してもらえばいいというものではないので、県で出来るものは県でやってもらってから移管をと思っており、今はそういう段階です。

《参加者 G さん》

いつごろかとお聞きしたのは、市長の在任中にそういったことがあるか、はっきり力を込めてお願いしたいなと思いましたが、有難うございました。県へ色んな要望を出しなさいと言うことかなと思うんですが、どういった形で出せばいいのか判らないんです。個人的に行ってあーだこうだということでもいいのか、或いは住民の意見を、私はその海岸の直ぐそばに住んでまして、その海岸も私の庭みたいなもんなんですが、そうしますと、私どもの近所の方々の意見を取りまとめたものを県へ持って行っていいのか、それとも唐琴町という組織で持っていった方がいいのか、そのあたりがちょっと判らないところで、ここで結論をというわけはいかないと思うんですが、自治会長さんとかとご相談させて頂きながら、どういう方向でというのは地元で相談したいと思います。市に移管になった時に、今のお話ですと、地元の意見をかなり取り入れてもらえるんじゃないかと思うんですが、市に移管になった時に、色々な管理が出てくると思うんです。そうすると、沙美の海岸とか、渋川の海岸であるとか、海水浴場という事で全体にオープンした時に、夜大騒ぎがあったりとかということで、地元住民が迷惑を被るとか、今は海岸の一部に車を止めようと思えば止めれるスペースは出来ておるんですが、その関係の鍵の管理であるとか、そういったことで海全体を、海岸の陸地の部分を白砂青松にするんだということで、松でも植えられると地元のもが全然海が見れなくなってしまうと、そういった問題も出てくるでしょうし、そうすると海岸全体にどういった木を植えたらいいいのか、そういったことも含めて管理を含めて地元の者の意見、本当の意味の地元で、意見の取りまとめをやった上で、今後色々取り決めていただきたいなと、市長が今後もう 1 期、2 期おられると大丈夫かなと思うんですけど、県知事にでも行かれたら今の話はなかったなと思うんですが。支所長さんも聞いていただいておりますし、是非このあたりのことをご配慮いただけたらと思います。よろしくお願ひします。

《市長》

有難うございました。1 点ですね、地元の市や県の場合は、勿論直接のご関係の方のご意見も大切なんですけど、その養浜の浜周辺の関係のある自治体、町内会の意見を取りまとめたというのは、別に議決をされなくてもいいと思うんですけど、その意見を町内会、自治体単位で上げていただくと大変有り難いなと思っております。県でも、多分そうだと思います。一人一人の方が言われても、皆がそういう意見なのかどうかというのを、県が調べるのは難しいものですので、自治会としての要望をまとめて、いくつもの自治会がご関係だと思しますので、自治会のご意見を聞いて県が出来ること、もしくは自治会によって意見が違いかも知れませんので、県と自治会、勿論、市もだと思いますがけれど、一緒に集まってどういう事を皆さんが共通で望まれていることかという意見をまとめていくということになると思います。

《参加者 H さん》

私は毎年 4 月に、唐琴なので、王子が岳でわらびを取るんです。山を駆け巡るのが好き

なんで。入ったらゴミだらけなんです。もうすごいですよ。積もり積もって何年分が奥の奥へ行ったらすごい。あれを綺麗にさせていただかないと、なんぼPRしても。王子が岳の山頂は234メートルですけど、山頂から見る光景は最高です。その過程で道から降りて歩いたら、ゴミだらけ。いっぺんあそこは見ていただいて。

《市長》

それは道路の部分ですか？

《参加者 H さん》

いえいえ、山の部分。それをいっぺん見ていただいて、業社を入れて綺麗にさせていただければ、うれしいです。あとは、ボランティアでやっていけばいいと思いますが、最初は業社で綺麗にやっていただいて、でなかったらよそから見ただけなんです。

もう1つ鷺羽山も同じ様にもう少し綺麗にお願いしたいと。3月、4月に東北の福島県まで行きたかったんですけど、放射能の関係で茨城県の水戸まで行きまして、自転車でいったんです。着いて帰ろうと思ったら3日手伝ったんです。帰ろうと思ったら、あんまりしつこかったのでトラックに自転車を積んで、私はJRで帰ろうと思うたけど、いやいやでも男だから来た以上はと思ひまして。命がけで帰ってきました。それはまあいいんですけど、2月にしまなみ街道を自転車で回ったんです。3泊4日で、市長行って欲しいです。もう見事な、素晴らしい自転車道です。この間、トライアスロンがありました児島の道も自転車道を使われたそうです。あれもいっぺん見ていただいて、人に来ていただいてPRされるんならもういっぺんきちっとそういう形で、整備していただきたい。もう1つは、目的地に早く着いた場合は自転車で近辺を見て回ったんです。とりあえずは姫路城の近辺を歩いてほしい。路地の路地まで生活道路がきちっと見事です。しまなみ街道も見事。私の目で見えてきた話なんですけどそういうことで出来ることを、PRする以上は喜んでいただけるようにしていただきたい。

《市長》

茨城県まで自転車で往復、ご苦労様でした。言われました王子が岳、鷺羽山など国立公園の1帯ですので、綺麗にしないとイケないのもあると思います。それはゴミを拾うだけじゃなくて、環境省とも今色々折衝してるんですけど、木を切ったらいいかと、どんなに生えてても、そうしたら見えないわけですよ、そうしたら観光客の人が来ても、国立公園に来て景色を見ようとしても見れないと、運転していても見れないとなると、非常に残念なんです。そういう所の交渉を今して、ある程度手を入れて切って、松の手入れにもなるんで逆に切って、ちゃんとその後も生えるように、そういうふうなことを考えております。

《参加者 H さん》

それは鷺羽山の場合で、王子が岳は木がちっちゃいんで、とにかくゴミがすごいです。それをお願いしたいと思います。鷺羽山もすごいんで、すいていただきたいと思います。

《参加者 I さん》

私、お巡りさんに銭も無いのにゴミ拾いやこするなど言われたんです。児島の警察署に、だから一切そういうことはしない。落ちとつても知らん顔しとんです。

《市長》

いえいえ、そんな。なるべく皆でゴミを拾っていただきますようよろしくお願いします。

《参加者 J さん》

下津井の J です。今日のテーマですけど防災について簡単に 2 点、地域力というテーマで 1 点是非言いたいことがあって来させて頂きました。まず、防災のことなんですけど、私の個人的意見ですけど、毎朝 7 時 45 分、結構近くにスピーカーがあるから大きな音で、朝は冷房せずに窓を開けて寝とつても大きな音で起こされるぐらいね、それより私は早く起きますけれども、はっきり言って毎月 1 日に鳴くトンビかカワセミか判らない様な人工的に作り出した不快な鳥の声よりも、伊東香織市長の声が毎回聞ける方が絶対幸せです。これが第 1 点。第 2 点、さっき FM ぐらしきの問題が出たんですけど、ラジオって今は昔に比べて、ラジオを聞くリスナーの方はすごく減っていると思います。私も直接まだ調べたわけではないんで、倉敷市民のうち何パーセント、どの位の方が実際に FM ぐらしきを聞いているのか判りませんが、おそらく 1 パーセントいくかいかないかが聴視率だと思います。何故ならラジオ離れをしているのは、日本国民全員に該当することです。特に若者たち、トラックの運転手さん、タクシーの運転手さん、ドライバーを仕事にしている人は、CD よりもラジオを聞いている人が多いとは思いますが、それにしても FM ぐらしきは電波が弱いですから、下津井なんか聞こえません。出ません。このへんもどうかわかりません。それで思うんですけど、あんまり電気とか、理工系は詳しくないんですが、詳しい方なら多分そんなにお金が掛からない方法で、いい知恵を出してくれるんじゃないかと思うんですが、KCT、倉敷ケーブルテレビを引かれている世帯は、倉敷の世帯にかなりの普及率が行っていると思うんです。特に地デジに関しては、ケーブルをつないだ方が絶対得だということで、地デジになってからすごく増えていると思うんですよ。ケーブルさんが結局通っている所は、ダイレクトにケーブルをラジオとかの端子につないだら、ものすごくクリアで綺麗なステレオサウンドで、放送が聞こえるそうです。で、最近のテレビだったら、テレビの映像はラジオだから出ないと思いますけど、恐らくちょっとした細工で、それは出来ているのか出来ていないのか判りませんが、こんなのは簡単に今の日本だったら出来ると思うんですけど、各テレビのアンテナ端子がありますよね、あれをダイレクトにラジオにつなぐケーブルはあります。それと同じ様に今ラジオを持ってない家庭、若者が多いです。だから例えば、ほとんど 99 パーセントの倉敷市民の方は地デジの液晶テレビを持たれていると思います。今色々な入力端子があります。あの端子、もし付いたら、付いてなかったらテレビメーカーと言うかパナソニック、ソニーとかそういう大手電機メーカーに訴えかけてでも、ケーブルテレビからのダイレクトのケーブルをつなぐことで、テレビでもいいです。パソコンでもいいです。ダイレクトに FM ぐらしきの音が何処の地域でも倉敷市内であれば、真備の山奥までもクリアに聞けるようなシステムがいとも簡単に出来るはずなんです、今の科学なら。是非そういうような活動を、訴えを、これは FM ぐらしきさん、もしくはケーブルテレビさんに言うべきことなんだろうけど、是非市長および市の職員さん方の耳に入れて、そういうような働きかけをしていただきたい



など。今日の参加者の方の中にそういうことに詳しい方がおられましたら、是非お力添えをいただけたらと思います。

地域力のことなんですけど、私も趣味、道楽、ボランティア、或いは副業、色々渾然一体としていますが、全国あちらこちらを結構、講演して回ってるんです。しゃべりは下手ですけども。さっき市長が鹿児島にPRに行かれたエピソードを聞かせていただいて、私も本当に頷きたい思いがするんですが、つい最近、鹿児島へ行きました。仙台も行きました。茨城の、さっき自転車で頑張っ行って行かれた方もおられますが、私は新幹線で行きましたけれど、茨城県の水戸だとか、全国大体、本州、四国、九州はほとんど、あと北海道に行っていないくらいで、大体大まかな主要都市20箇所ぐらいで、ちっちゃい所だったら50人~100人、大きい所だったり2,000人ぐらいの前で、お話をさせていただく機会に恵まれてきたので、来年も大阪、東京、福岡あたりからオファーが来ているんですが、貴方はどちらのご出身ですか、どちらから来られましたって始まる前に、舞台裏の楽屋でスタッフの方とお話しする時に、倉敷ですと言ったら、倉敷って広島県でしたっけ、兵庫県でしたっけ、中には香川ですか、徳島ですか、岡山という言葉はなかなか出てこないですよ。これが現状です。瀬戸大橋と言ったら10人が10人知っています。瀬戸大橋は何処ですかと言うと、倉敷ですと、倉敷は何県ですかと聞かれるんです。それも現状ですよ。10人中の大きさに言うと8割、9割が倉敷って何県ですか、瀬戸大橋って何県ですかってよく言われます。四国とどっかと本州がつながってるよねえと言われます。中四国、近畿の外へ行くとほとんどですよ。鷺羽山なんて当然100人中98人まで知りません。王子が岳は99人まで知りません。倉敷市は、瀬戸内海を代表するような素晴らしい所も沢山あるし、国が認めた海水浴場の中で800以上もある遊泳浴場の中で、日本初の海水浴場があるのは倉敷市です。日本で始めて明治13年に海水浴場の公認を受けたのは、あの玉島の沙美海水浴場です。なんぼ唐琴から10分以内で行けるといっても、渋川は玉野市です。沙美海水浴場は倉敷市です。だから倉敷市と言うのは誇り高い所がいっぱいあるんです。鷺羽山も王子が岳も海水浴場も、先ほど市民交流センターの話も出ましたけれども、市民交流センターがちっちゃいとか大きいとか言う前に、古くて老朽化の問題もあるんでしょうけど、じゃあ児島文化センターの大ホールが毎月毎月どれだけの稼働率で使われているかというのを考えていただきたいんです。まず、私も全国に倉敷とか岡山をPRしたいが為に、今市長の追っかけのように時間の許す限り毎回この公民館のふれあいトークに参加させていただいています。それは地域性とか、各地域の抱えている問題をつぶさにこの肌で感じる為にやっているんですよ。

もしここに経営者の方とか、法人会の方とか、その関連会社の方々がおられましたら、ただ我々は、市や行政に要望するだけじゃなく、ワシらが何かいっちゃってやろうじゃないかという声を是非上げていただきたいと思います。微力ながらそういうことを、あっちこっちで叫ばしていただこうと思っております。

《参加者Kさん》

市長さんは子育てに力を入れるということで、公約されてきているので、教育のことでお聞きしたいんですが、特に中学校の生徒の荒れようがひどいと聞いております。おそらく琴浦東中（琴浦中）も例外ではないだろうと思うんです。この近辺でもお店屋さんで中学生のグループが万引きをするとか、浜でたむろしてタバコを吸ってるのを見かけます。

次代を担う子どもがこういう状態では本当に由々しき問題だと思う。市長さんも今度の予算では特にこの教育の問題に力を入れていくと聞いていますので、どういう対策を考えておられるのか、それはただ学校や親だけの問題じゃなくて、地域で取り組んでいく必要があると思うんですよね。私も呼びかけているんですけど、そういう地域への期待はどう考えておられるんですか。

《市長》

有難うございました。大変大切なことだと思います。先日、山陽新聞にも、「荒れた中学」とか、校内で暴力があった率とか、パーセントで見れば岡山県内では倉敷市は低い、非常に下の順番ではございました。パーセントで出ているのを見ればですね。言われるように、個々の学校で見れば、問題はあっております。まずは県の教育委員会と協力をしまして、いくつかの学校をモデル校として採り上げて、言われたように学校教員と各家族だけでは出来ませんので、地域の皆さんと一緒に、タバコを吸っている中学生とか、そういう指導のやり方とか、昔はもっとガンガンやってたんですけど、最近なかなか出来ない人も多くなってきておりますので、そういう所から取り組み始めているのが、現状でございます。パーセントとしては、あまり高い方ではないんですが、課題はあると思っておりますので、子育ての重要な政策の1つとして今取り組みをしております。

今日は防災を中心といたしまして、お話をしてお話をしてご質問などを頂きました。今日も来てくださっている方がいらっしゃるみたいでございますが、地域の安心・安全は住民の皆様、そして消防団の皆さん、消防局の職員もがんばりますので、手を取り合って防災の意識を高めて、自主防災組織のこともそうでございます。何とか安全なまちに皆さんでしていけばありがたいと思っております。どうも有難うございました。